



作ろう「スイートポテト」



1

さつまいもをゆでて、
つぶす。



2

バター、砂糖、牛乳を
適量入れて混ぜる。

子どもが持ちやすい
用具を使いましょう！

3

形を整えて、表面に
卵黄を塗る。

どんな形ができる
かな？

4

オーブントースターで
焼いたらできあがり！



「ともだち絵本 なかよし」

シャーロット・ソルトウ 文

ベン・シエクター 絵 みらい なな 訳

ぼくはジョンの得意なことも苦手なことも
好きなことも嫌いなことも、み～んな知って
る。ジョンもぼくのことを何でも知ってる。

ぼくは、ジョンが楽しいときもうれしいと
きも辛いときも悲しいときも一緒にいてあげ
る。ジョンも一緒にいてくれる。

なかよしっていいな・・・。



1

ボール紙の真ん中に
穴をあける。

2

たこ糸でボール紙と
まつぼっくりをつなぐ。

3

ボール紙にシールを
貼ったり模様を描いた
りしてできあがり！



まつぼっくりを一緒
に拾うのも、楽しい
ですよ！

じょうずに
入るかな？



★アンケートのお願い★ 次回テーマ「雨の日に」

「おうち」は皆さんの声で構成する情報誌です。ぜひ、ご協力ください。アンケートは幼稚園・保育所にお出しください。直接、幼児教育センターへお出しいただくことも可能です。

家庭教育ホットライン(保護者専用) TEL 028(665)7867

保護者の皆さん！お子さんの育児、子育て、しつけ等家庭教育のことや友達、いじめ等対人関係のことなどで困っていること、悩んでいることはありませんか？秘密は絶対に守ります！一人で悩まず気軽に御相談ください！

受付時間 月～金曜日 午前8時30分～午後9時30分 土・日曜日 午前8時30分～午後5時30分

※ただし、第3日曜日・祝日・年末年始は留守番電話・FAX(電話番号と同じ)で対応しています。

メール相談はこちら PC版 <http://www.hothotmail.jp> モバイル版 <http://www.hothotmail.jp/m.html>



栃木県教育委員会



幼児教育センター情報誌「おうち」 第25号

発行者 栃木県総合教育センター幼児教育部
(栃木県幼児教育センター)

URL: <http://www.tochigi-edu.ed.jp/center/youji/>

〒320-0002 宇都宮市瓦谷町1070

TEL 028-665-7215 FAX 028-665-7216

e-mail: yokyo-c@tochigi-edu.ed.jp

※バックナンバーはホームページで読むことができます。



幼児教育センター情報誌

おうち

テーマ

なかよしになるって？

第25号
2014.9

子どもと一緒に

作ろう「スイートポテト」

読もう「なかよし」

遊ぼう「けんだま」



「おうちロケットとおんなのこ」 わかばやし まこ さん(年中)



栃木県総合教育
センター

所長 長野 誠

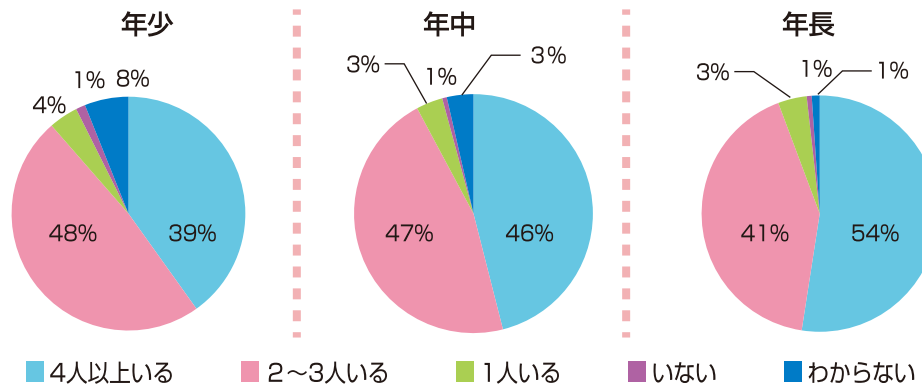
私は現在五十八歳です。幼稚園の年少さんに入ったのが、三歳の時です。五十五年前のことです。私は鹿嶋市で生まれ、自宅から最も近い「草牟田幼稚園」に通いました。私の一番のなかよしさんは「坂元晴彦くん」でした。どのようにしてなかよしになったのかは全然覚えていませんが、晴彦くんのおうちは、私のうちの近所で、幼稚園が終わると毎日のように晴彦くんのおうちに遊びに行っていました。私の家は貧乏で、粗末な借家に家族四人で住んでいました。晴彦くんの家は裕福な家で、家に自家用車やピアノがありました。鹿嶋では裕福な家のことを「分限者(ぶんげん)さん」と呼んでいました。

日はすき焼きだから、まことくんも一緒に夕飯を食べていかないと云ってくれました。母は「迷惑になりますので、連れて帰ります。」と言いましたが、私は自分の家では食べたことのない「すき焼き」を食べてみたくて、「今日は晴彦くんのおうちで夕飯を食べたい。」とだだをこねました。晴彦くんも「おはちゃん、僕もまことくんと一緒に夕飯を食べたい。」と言ってくれました。母は仕方なく「一時間たったら迎えに来ますので、よろしく願います。」と言って、帰って行きました。初めて食べた「すき焼き」はとてもおいしかったのですが、迎えにきてくれた母と一緒に家に帰る途中、母に「すき焼きおいしかった？」と訊かれたとき、「おいしかったけど、お母さんがつくってくれる夕飯の方がおいしいよ。」と答えたことを今でも鮮明に覚えています。

アンケート「ながよしになるって？」

〈対象：県内の3～5歳の子をもつ保護者 回答数： 年少 1,205人 年中 1,320人 年長 1,026人〉

Q1 お子さんにながよしの友達はいませんか？（1つ選択）



○年齢が上がるにつれて「4人以上いる」という回答の割合が増えます。

今は、一人で遊んでいることが多いけど、年中さんになるころには、ながよしのお友達が見つかるといいなあ。
（年少保護者）



「友達は、いないの？」とか「誰と遊んだの？」とか聞かれるけど、ぼくは、一人で遊ぶのが好きなんだ！



同じ場所に一緒にいることや同じ事をすることを大切に

子どもは、一緒に遊んでいなくても、同じ場にいただけで、知らず知らずのうちに他の子のまねをしたり、偶然触れ合ったりして、様々なことを学んでいきます。一緒にいるだけでも、人と共にいる喜びを感じているのです。



今、ながよしのお友達は、ずっとながよしでいてほしいです。これから、どんどんながよしが増えるといいな。（年長保護者）



こうちゃんと遊ぶと、いつも命令されちゃうんだ。
でも、こうちゃんの言うとおりに遊ぶと、なぜか楽しいんだよね…。

けんかをしながら遊ぶ姿を大切に

いくらながよしでも、けんかをしてしまっても楽しく遊べない日もあるでしょう。でも、子どもは、けんかをしながら相手にも思いがあることや我慢をすることの大切さに気付いていきます。ながよしだからこそ、けんかをして一緒にいられるのです。そんな関係を温かく見守ってあげたいですね。

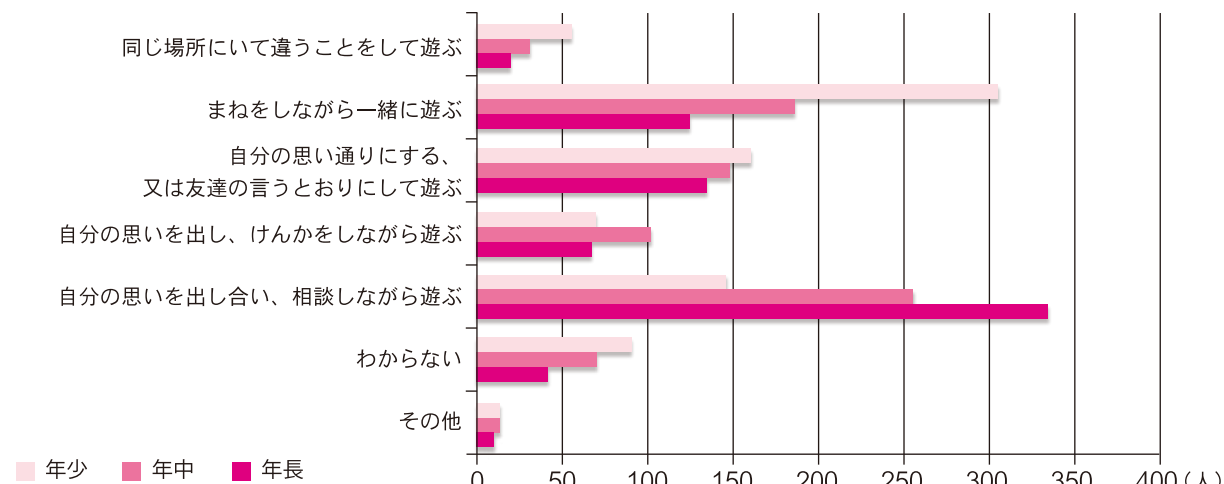


一緒に遊ぶと、必ずけんかになるのに、なぜかその子と一番ながよしだというんですね。（年中保護者）



いつもけんかしちゃうけど、私は、ゆみちゃんが大好きなの。けんかしても、すぐ仲直りするから大丈夫なの。

Q2 お子さんは、ながよしの友達とどのようにかかわっていることが多いですか？（Q1で「ながよしの友達がいる」と回答した方が1つ選択）



○年少は「まねをしながら一緒に遊ぶ」が、年長は「自分の思いを出し合い、相談しながら遊ぶ」という回答が多いです。
○「自分の思いを出し、けんかをしながら遊ぶ」という回答は年少、年長と比べて年中が多いです。

友達とのやりとりを大切に

子どもは、ながよしができると、ごっこ遊びやルールのある遊びを楽しむようになります。ながよしだからこそ、遊びの中で、自分の考えを主張したり相手の言いたいことを受け入れたりして遊びを進めようとします。一方的に主張したり、逆に友達の言うことをすべて受け入れてしまったりしている姿を見ると心配になりますよね。でも、その子なりのかかわり方を認めてあげてください。友達とやりとりしながら遊ぶ体験を重ねることで、さらに、ながよしの絆は深まっていきます。

